



例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 勝山 会場監督 点鐘 谷道 会長

国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト

ゲスト

高岡市博物館 主幹 仁ヶ竹 亮介 氏

会長挨拶／報告

■誕生祝

坪田 伊歩 さん (10/3・53才)

西村 博邦 さん (10/5・67才)

■2021-22 ロータリー賞 授与 披露

幹事報告

■配布／ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典

■IDM⇒本日 18:30～ つたや

■呉羽同好会⇒10月1日(土) 12時 32分スタート  
呉羽カントリークラブ 立山コース

< ニコニコBOX 10件 31,000円 >

谷道会長／仁ヶ竹亮介様お待ちしております。卓話  
楽しみにしております。鞍野さん、日本百名山登頂  
おめでとうございます。

塩崎副会長／仁ヶ竹さん ようこそ高岡 RC へ。卓話よ  
ろしく願います。本日 IDM ドタキャンになり  
ました。すみません。よろしく願います。

島幹事／仁ヶ竹さん、ようこそ高岡 RC へ！残念なが  
ら本日都合により早退します。仁ヶ竹さんの卓話を  
聞けないことが非常に心残りです。次回を楽しみに  
しています。

竹中君／仁ヶ竹さん本日の卓話楽しみにしております。  
鞍野さん、日本百名山登頂おめでとうございます。

加茂君／仁ヶ竹さんようこそ高岡 RC へ。卓話を楽し  
みにしています。高岡城の魅力をたっぷりとお聞か  
せください。宜しくお願い致します。

室崎君／Olena に可愛い女の子の赤ちゃんが誕生しま  
した。ナヌシ君のオハナちゃんに次いで二人目の日  
本生まれの米山二世、世話クラブとしても大変喜ば  
しいことです。この後、子育てと研究の両立は大変  
な事ですが、これまで遠い異国に単身乗り込み、自  
分の力で道を開いてきた Olena なら心配ないと思  
います。

山本(毅)君／安倍元総理の国葬が終わりました。8年

8ヶ月にわたり政権を担当し、安全保障法制、国家  
安全保障会議(NSC)創設、クアッドなど我が国の  
防衛力の強化に貢献され、テロリストの凶弾に倒れ  
た安倍総理を国葬をもって送るのは当然の事だと思  
います。官房長官として安倍総理を支え続けた菅  
元総理の哀惜の情に溢れた弔辞には大変感動しま  
した。岸田首相には安倍総理の安全保障戦略を正し  
く継承することを期待します。大問題である暗殺を  
統一教会問題にすり替えてしまい、安倍総理が統一  
教会とズブズブであるとのデマ報道を行い、国葬反  
対の世論を作り出したマスゴミには怒りを覚えま  
す。安倍総理は実際には消費者契約法の改正を行い、  
統一教会の靈感商法を強力に押さえてこられてい  
たのです。国葬には世界中から多くの弔問客を迎え、  
一般献花には約2万5000人が訪れ、デジタル献花を  
40万人以上の方が行き、安倍総理の素晴らしい功  
績を讃えることができたことがせめてもの救いで  
す。 —合掌—

高木君／9月21日、『高岡南部地域活性化推進協議会  
視察会』で福井県越前市を訪問。新幹線駅開業に向  
けたまちづくりや LRT 整備計画のお話、サンドー  
ム福井の見学など南活らしい旅行となりました。3  
年ぶりの視察会でしたが、ロータリーメンバーから  
も多数のご参加を賜り盛会となりました。御礼申し  
上げます。

西村君／誕生祝を頂いて。

金森君／誕生祝ありがとうございます。

プロクラブ



卓話

演題『 国指定史跡・日本百名城  
高岡城の魅力 』

仁ヶ竹 亮介 氏

高岡城跡(高岡古城公園)は慶長14年(1609)9月に  
築城された。その最大の特徴は現在まで水堀が完全  
に保存されていることである。つまり保存率は日本一と

いえよう。そして郭（城内の区画）の形状も完存している。更に城郭考古学者・千田嘉博氏（奈良大）が高く評価するのは、設計のレベルも極めて高いという点だ。高岡城は日本人のみならず、人類が到達した城の工夫の最適解「馬出」（郭の出入口前の堀等で区切られた区画で、攻撃と防御機能を兼ね備える）を本丸以外の全ての郭に配置し、「これほど理論的に徹底して馬出を配置した城はない。高岡城は世界の城の中で、特筆される城である」（千田 2011「高岡城の歴史的価値」『高岡城跡詳細調査報告書』所収）とする。更に建築史家・三浦正幸氏（広島大）は「高岡城は日本で唯一、三方が河岸段丘に囲まれた城。さらに、当時の「最強の要害」である水田（西は深田、東は浅田）にも囲まれており、極めて強い防御力を誇る。そして、設計も「最強の城」とされる名古屋城と同時期で、同様の馬出配置をもつので高岡城も難攻不落の「天下の名城」といえる」（令和3年3月27日「高岡御旅屋 VR」公開記念講演会）とし、共に最高の評価をしている。

高岡城は平成18年(2006)4月6日（城の日）、日本城郭協会により富山県内で唯一「日本百名城」に選出された。これは千田氏ら専門家による委員会（委員長・新谷洋二氏）で喧々諤々の議論を経ての選定であったという。そして、平成20～24年(2008～12)、高岡市による城跡詳細調査を経て、同27年(2015)に国より史跡に指定された。当然国史跡も国や専門家による審査があるが、個人的には毎年増えていく国史跡城郭より、これ以上絶対に増減しない日本百名城への選出の方がレアではないかと思う（同協会は2017年に「続日本百名城」を選定したが、これは百名城選定の際に漏れた城関係者や大好評の百名城スタンプラリー愛好者らの声に“押されて”の選定であり、当初からの予定ではなかった）。

さて、高岡城は慶長14年(1609)3月、4年前に隠居していた加賀前田家2代の利長(1562～1614)の富山城を焼失したことが築城のきっかけである。利長は富山を再建せずに直後に高岡(当時は関野)への築城許可を得るべく、徳川家康の隠居する駿府へ使者を走らせ、4月12日にその第一歩として、木町(小矢部川と当時は大河の千保川の合流点)を建てた。それ以降の築城の経緯は写しも含め約50通残る利長の書状により詳細に判明する。その多くが督促状であり、早急に自分の拠点を確認したい利長の焦りに満ちた心境がうかがえる。利長は生涯「はひ」(秀吉から拝領した羽柴肥前守の略)と署名しており、その本音も察せられる。そして超突貫工事を経て、富山城炎上から約半年後の同年9月13日、利長は高岡城へ入城を果たした。おそらく未完成であったことは2年後と3年後の城内屋敷の畳補修を命じた書状などからもうかがえる。

利長が高岡に新たに城と城下町を築いた理由を示す一次史料は未発見である。しかし、高岡の立地から考えると、次の3点が挙げられよう。それは①政治的(金沢の幼い利常を指導)、②軍事的(加賀藩領のほぼ中心(重心)地)、③経済的(小矢部・千保両大河と北陸道

を抱えた物流拠点)な理由で利長は高岡が中心地たりえると考えたのではないか。

しかし慶長19年(1614)5月、利長は入城から僅か5年で亡くなり、そして翌年の「一国一城の令」により高岡城は廃城となってしまう。しかし、利長の遺志を尊重した3代利常は高岡に種々の経済的な保護を与え、更に利長の菩提寺・瑞龍寺(国宝/3万6千坪)を約20年かけて建設し、利長墓所(国史跡/1万坪)及び、それをつなぐ参道「八丁道」も造成している。その3か所からなるエリアは高岡城の弱点である南方に築かれている。表面上は文化(宗教)的・経済的な名目で造成しているが、利常の真意は軍事的な理由かと思われる。さらに利常は周辺にあった寺社(広い境内と堀を持つ砦に転用可)を高岡中心の要地に移転させている。その上、城の防衛にとって最も重要な高岡城の水堀を埋め立てさせなかった。しかも一国一城令より極めて厳しいとされる1638年の破城(城割)令があったにもかかわらず、である。さらに利常はこの年、自分の隠居城・小松城を例外的に整備拡張している。これはもはや、利常個人の圧倒的な“存在感”のなせるわざといえよう。利常は2代将軍秀忠の婿で、3代家光の義兄である。そして当時の大名で数少ない戦争(人質)体験や豊富な政治経験をもっていた。そんな利常だからこそ、高岡城の水堀、縄張全体が現在にまで残ったと考えられる。

しかし、現在高岡城跡に天守や門・櫓など城らしい建造物や目立つ石垣は無い。現状での人々の認識は「公園」に過ぎないであろう。それは多くの人々がもつ、「城=天守閣」という“誤解”もあろう。日本百名城の選定委員長・新谷洋二氏曰く「地面に穴を掘って溝をつくり、掘り出した土を盛り上げて土手を築く。それで城。極論すれば、建物は不要。溝(=堀)と土手(=土塁)があれば城となる。天守閣を城だと思っていた人は認識を改めていただきたい」(2007年講演録)との明確に定義されているが、今後もこの定義を普及させていきたい。そして、現状では樹木・下草が繁茂し最大のセールスポイントである水堀がほぼ見えない(特に東側の県道沿い)。また城内の要所に解説看板等のサイン類もほぼ無い。しかし、現在は「お城ブーム」である。博物館には毎日、全国から「日本百名城スタンプラリー」の参加者が来られている。その方々は全国の城と比較して、現状の高岡城跡をどう思うであろうか。適切な樹木・下草の伐採、看板の設置は高岡城跡整備の今後の課題であろう。そして、何より市民に対して、今後も高岡城跡の魅力を発信していきたいと考えている。



《 IDM 9月29日 18:30～ つたや 12名出席 》

